

まちの地域力 ～自主防災編～

赤川区避難訓練

1月27日、赤川区で水害を想定した避難訓練を実施しました。今回の訓練は、昨年設立された赤川区自主防災会のメンバーを中心に企画され、災害時の広報手順や避難方法、災害時要援護者の支援体制の確認をしました。この訓練までに、自主防災会のメンバーは訓練内容について会議を重ねるとともに、独自の避難所になっている農業倉庫の整備や区民への周知を行い、実際の水害に備えました。避難完了後は、炊き出し訓練も行われました。

①避難勧告の発令

市の水防本部より、避難勧告の発令の連絡が区長に入ると、赤川区が独自に持つ各戸向けの有線放送システムを使用して、全区民に情報伝達しました。



○炊き出し訓練



②避難の開始

区民は情報伝達されると、自主防災会の班長などが各家庭に避難を呼びかけながら、一緒に避難しました。



避難完了後、公園へ移動して、炊き出し訓練が行われました。地元グループが準備した温かい豚汁が避難者にふるまわれました。

③避難完了の報告

避難所（農協倉庫）に集まると、班長を中心に避難者の人数を集約し、市の水防本部へ避難完了を報告（避難人員、けが人の報告など）しました。



東福童区防災研修会

1月29日に東福童自主防災会による防災研修会が行われました。

自主防災組織支援事業補助金で購入した車椅子と担架の使用方法を確認し、負傷者等の搬送手順を学習しました。また、災害の事前対策を講じるため、水害を想定した災害図上訓練を行いました。

東福童自主防災会では、区内の危険箇所調査や区民の防災意識のアンケート調査などを行いながら防災活動を進めています。

車椅子の使用法

講師 社会福祉協議会



車椅子の広げ方や折りたたみ方、乗降りの基本動作、坂道や階段を移動する際の注意点を学びました。

布担架の使用法

講師 三井消防署



布担架はソフトな素材でコンパクトに収納でき、緊急時には一人でも搬送可能です。毛布やシーツなど大きめの布は担架代わりに活用できます。

災害図上訓練

講師 協働推進課



机に地図を広げ、地域内の主要道路、危険箇所や浸水想定区域などを色分けし、地域の災害における特徴を把握しました。

●問合せ先 協働推進課防災安全係 ☎72-2111内線253